

連番	ページ	行	項目	質問内容	回答
1	⑨-1	10	1 通信回線の概要 (4)保証すべき帯域	回線を2本提供し、BGP を利用するスイッチ、スタティックルーティングを利用するスイッチにそれぞれに回線終端装置を接続するという提案は可能か。 その場合、それぞれの回線で500Mbpsの帯域を確保できればよいか。 また、回線終端装置を1台で提供する場合、ネットワークを分岐するために宅内機器が必要であれば受注者がルータ等の機器を設計、設置する想定でよいか。	回線終端装置の個数については、仕様上の要件はありませんので、それぞれのスイッチに回線終端装置を接続する提案は可能です。  また、回線全体の通信帯域としてISPバックボーンまで、1Gbpsの帯域が保証されており、仕様書の要件を上回っているものと判断できますので、2回線でそれぞれ500Mbpsの帯域を確保する構成での提案についても可能とします。  回線終端装置を1台で提供する場合で、ネットワークを分岐するために宅内機器が必要となる場合は、ご認識のとおり、受注者においてルータ等の機器を設計、設置願います。
2	⑨-1	13	1 通信回線の概要 (5)SLA	SLAの対象は受注者が提供するインターネット網ならびに宅内アクセスに用いる光ファイバー区間(宅内に設置する回線終端装置等の機器は対象外)との認識でよいか。	仕様書において、障害回復の項目については、納入場所の構内配線に係る部分は範囲外である旨、記載していますので、その認識で構いませんが、それ以外の項目については、SLAの対象に含まれます。
3	⑨-1	33	1 通信回線の概要 (6)接続	受注者が設置する回線終端装置等の機器と、接続先の府が用意する機器の距離はどの程度か。同一ラック内となるか。	回線終端装置については、府が用意する疎水ネットワーク機器は同一ラック内に設置いただく予定ですので、機器間の距離は、同一ラックの範囲内にとどまるものとお考えください。
4	⑨-1	33	1 通信回線の概要 (6)接続	受注者が設置する回線終端装置等の機器と、府が用意する機器間のケーブルは府で準備される認識でよいか。	機器間のケーブルについては、受注者で準備及び配線作業をお願いします。
5	⑨-1	33	1 通信回線の概要 (6)接続	保守の範囲は受注者が設置する回線終端装置等の機器のLANポートまででよいか。	保守分界点は、府の疎水ネットワーク機器の接続ポートとなりますので、疎水ネットワーク機器に接続するLANケーブルも保守対象に含めることとさせていただきます。

連番	ページ	行	項目	質問内容	回答
6	⑨-2	15	1 通信回線の概要 (8)その他 ②ルーティングテーブル	BGPでは貴府へ渡すルート情報はdefaultルートのみを想定しているが認識は合っているか。	現時点では、フルルートでルート情報を渡していただくことを想定していますが、詳細については、京都自治体情報セキュリティクラウド等の関係者と調整の上、決定することとします。